

表 令和7年9月の火山現象に関する特別警報、警報、予報及び情報の発表履歴

火山名	特別警報、警報 及び予報の状況	発表した火山現象に関する 特別警報・警報・予報・情報等		概要
桜島	火口周辺警報 (噴火警戒レベル3、 入山規制)	解説情報 第93～101号	1日、5日、8日、12 日、15日、 16時00分	南岳山頂火口で噴火活動継続。噴火、噴煙、 火映、火山性地震、微動の発生状況。 傾斜計及び伸縮計で山体が膨張した状態が 維持。火山ガス(二酸化硫黄)放出量は1700 ～2800[t/日](5, 8, 19日)で非常に多い。 GNSS観測で、始良カルデラ(鹿児島湾奥部) を挟む基線で地下深部の膨張を示す長期の 緩やかな伸びがみられる。 始良カルデラ深部にマグマが蓄積した状 態、火山ガスも概ね多いことから、今後も噴 火活動が継続すると考えられる。
		降灰予報(速報)	(今期間発表なし)	噴火発生から1時間以内に予想される、降 灰量分布や小さな噴石の落下範囲。
		降灰予報(詳細)	(今期間発表なし)	噴火発生から6時間先まで(1時間ごと)に 予想される降灰量分布、降灰開始時刻。
霧島山 (新燃岳)	火口周辺警報 (噴火警戒レベル3、 入山規制)	解説情報 第85～93号	1日、5日、8日、12 日、15日、19日、22日、 26日、29日 16時00分	3日及び5日に噴火。3日の現地調査で南 西側で降灰を確認、霧島市牧園町の一部で 多量。火山ガス(二酸化硫黄)放出量は300～ 400[t/日](1, 12, 24, 25日)でやや少ない。火 口直下の火山性地震は増減を繰り返す多 い。火山性微動は4日以降ない。GNSS観測 で霧島山を挟む一部の基線で、深部の膨張 を示すわずかな伸びは7月上旬頃から停滞。 火山活動は活発。火口から概ね3kmの範囲 で大きな噴石などに警戒。
		降灰予報(速報)	3日 11時39分 13時11分	噴火発生から1時間以内に予想される、降 灰量分布や小さな噴石の落下範囲。
		降灰予報(詳細)	3日 11時48分 13時20分	噴火発生から6時間先まで(1時間ごと)に 予想される降灰量分布、降灰開始時刻。
口永良部島	火口周辺警報 (噴火警戒レベル3、 入山規制)	解説情報 第58号	1日 16時00分	浅部の地震活動は7月中旬頃から減少し少 ない状態。主に古岳火口付近で発生。5～6 日に現地調査。26日に上空から観測(鹿児 島県協力)。火山ガス(二酸化硫黄)放出量 は少ない。GNSS観測で2023年の膨張は維 持。新岳及び古岳火口から概ね2km範囲、 向江浜地区から新岳南西にかけて海岸まで の範囲に影響する噴火の可能性はある。
	火口周辺警報 (噴火警戒レベル2、 火口周辺規制)	火口周辺警報	5日 11時00分	山体浅部の地震活動は7月頃から減少。新 岳及び古岳火口から1kmを超え、また新岳 火口から西側2kmを超えて影響する噴火の 可能性は低くなった。引き続き火口周辺に 影響する噴火の可能性はある。
		解説情報 第59～60号	5日 11時10分 12日 16時00分	火山性地震は7月頃から減少、火山ガス(二 酸化硫黄)放出量は少ない。GNSS観測で2023 年の古岳付近の膨張は更なる膨張はない。 7～9日の現地調査で特段の変化はない。 火山性地震は中長期的には活発。火口の周 辺に影響する程度の噴火の可能性はある。
	噴火予報 (噴火警戒レベル1、 活火山であることに留意)	噴火予報	19日 11時00分	4月から活発化した山体浅部の地震活動は 7月頃から減少し少ない状態。他のデータ にも変化はない。火山活動は低下し火口周 辺に影響する噴火の可能性は低くなった。
		解説情報 第61号	19日 11時10分	山体浅部の地震活動は少ない。火山ガス(二 酸化硫黄)放出量は少ない。7～9日の現地 調査で特段の変化はない。火口周辺に影響 する噴火の可能性は低くなったと判断。
雌阿寒岳 (次頁へ続く)	噴火予報 (噴火警戒レベル1、 活火山であることに留意)	解説情報 第1～4号	12日 16時30分 19時45分 13日、14日16時00分	11日からボンマチネシリ火口付近で小さな 火山性地震が増加、12日に約7分間の火山 性微動と火口方向が上がる傾斜変動を観 測。噴気の量が増加。今後の情報に注意。
	火口周辺警報 (噴火警戒レベル2、 火口周辺規制)	火口周辺警報	15日 15時20分	火山活動がやや活発。15日の現地観測で熱 活動の活発化を確認。ボンマチネシリ火口 から約500mの範囲に影響する噴火の可能 性がある。

令和7年9月 地震・火山月報（防災編）

火山名	特別警報、警報及び予報の状況	発表した火山現象に関する特別警報・警報・予報・情報等		概要
(前頁の続き)				
雌阿寒岳		解説情報 第5～13号	15日 15時50分 16日～19日、22日、24日、26日、29日 16時00分	15日の機動観測と16日の上空からの観測（北海道協力）で、ボンマチネシリ火口内と近傍に火山灰の明瞭な堆積を確認。機動観測では96-1火口で10日に比べ新たな噴気孔の形成や火口内の温度上昇も確認。噴煙の量は多い。12日からの火口方向が上がる傾斜変動は引き続き緩やかに継続。ボンマチネシリ火口付近の地震活動は、増減を繰り返し継続。ボンマチネシリ火口から約500mの範囲に影響する噴火の可能性ある。
岩手山	火口周辺警報 (噴火警戒レベル2、 火口周辺規制)	解説情報 第38～41号	5日、12日、19日、26日 16時00分	黒倉山付近の微小な火山性地震は8月上旬以降少ない。監視カメラでは噴気、地熱域及び地表面温度に大きな変化はない。傾斜計やひずみ計、GNSS観測で2024年2月頃からの山体深部の膨張を示す変動は緩やかに継続。西岩手山（大地獄谷・黒倉山から姥倉山）の想定火口から概ね2kmの範囲に影響する噴火の可能性ある。
草津白根山 (白根山(湯釜 付近))	火口周辺警報 (噴火警戒レベル2、 火口周辺規制)	解説情報 第36～65号	1～30日 16時00分	火山性地震が増減を繰り返し発生。6日と27日にわずかな傾斜変動を伴う小さな火山性微動が発生。傾斜計で昨年6月頃から地下浅部の膨張を示す緩やかな変動、噴気の化学成分比に同年6月頃から活発化を示す変化、全磁力連続観測で今年に入り地下の温度上昇を示唆する変化が認められる。火山活動が高まり湯釜火口から概ね1km範囲に影響する噴火の可能性ある。
浅間山	火口周辺警報 (噴火警戒レベル2、 火口周辺規制)	解説情報 第70～78号	1日、5日、8日、12日、15日、19日、22日、26日、29日 16時00分	火山性地震は2024年4月中旬以降増加した状態。同3月中旬からの山体西側の膨張を示す傾斜変動は5月以降は停滞。火山ガス（二酸化硫黄）放出量は70～300[t/日](2,9,25日)、2023年3月以前より多い。火口から概ね2kmに影響する噴火の可能性ある。
硫黄島	火口周辺警報 (火口周辺危険)	解説情報 第1号	2日 11時00分	1日に西海岸で噴火が発生。噴煙の高さ1000m以上。その後勢いは弱り継続。8月30日頃から地震活動の活発化と通常より大きな隆起を観測。従来噴火がみられた領域や沿岸で、引き続き噴火に警戒。
薩摩硫黄島	火口周辺警報 (噴火警戒レベル2、 火口周辺規制)	解説情報 第35～39号	1日、8日、15日、22日、29日 16時00分	白色の噴煙と夜間に時々高感度カメラで火映を観測。火山性地震は少ない。GNSS観測で山体の膨張を示す変化はない。長期的に熱活動や噴煙活動が高まった状態。火口周辺に影響する噴火の可能性あり。
諏訪之瀬島	火口周辺警報 (噴火警戒レベル2、 火口周辺規制)	解説情報 第35～41号	1日、8日、15日 16時00分 19日 09時00分 22日、29日 16時00分	御岳火口で噴火活動継続。噴火、爆発、噴煙、火映の状況。大きな噴石の飛散。集落（火口から南南西3.5km）で降灰（村役場出張所による）。火山性微動はときどき発生。島の西側付近と推定される火山性地震は、昨年10月頃から中長期的な増加傾向。12日に震度1。17日20時頃から増加し震度5弱を観測。その後22日までに震度4が3回。22日頃から減少。噴火活動に特段の変化はない。GNSS観測では2024年10月以降、島の西側やや深部でマグマ蓄積量増加を示すわずかな変動。長期に噴火活動が継続し御岳火口周辺で大きな噴石飛散の可能性ある。
		降灰予報(速報)	16日 08:22, 27日 18:49, 22:59, 28日 02:16	噴火発生から1時間以内に予想される、降灰量分布や小さな噴石の落下範囲。
		降灰予報(詳細)	16日 08:33, 27日 19:02, 23:09, 23:30, 28日 01:57, 02:25	噴火発生から6時間先まで(1時間ごと)に予想される降灰量分布、降灰開始時刻。

注1) 表中、解説情報とは「火山の状況に関する解説情報」のことである。

注2) 雌阿寒岳、岩手山、草津白根山(白根山(湯釜付近))、浅間山、霧島山(新燃岳)、桜島、薩摩硫黄島、口永良部島、諏訪之瀬島においては、噴火警報を発表している間、毎日02時から3時間毎に8回降灰予報(定時)を発表している。雌阿寒岳は15日23時に開始した。口永良部島は19日8時で終了した。